

# 南部近隣センター リノベニュース

発行：柏市役所地域支援課 問合せ：04-7167-1126 Fax 04-7167-8103 mail: info-chksh@city.kashiwa.chiba.jp

## ワークショップ 第2章スタート!

## 「つかいかた (利用マニュアル)」の議論が始まりました



**南部近隣センターは、平成31年1月から一時休館します。(体育館は利用できます。)**  
**皆様のご理解とご協力をお願いします。**

### ■南部出張所は、南部クリーンセンターへ移ります。

利用開始日：平成31年1月4日(金)から  
 業務内容：出張所の全業務  
 近隣センター利用登録等に関する業務  
 問合せ先：南部近隣センター 04-7173-1000

### ■図書館南部分館は、南部近隣センター体育館プレイルームで業務の一部を行います。

利用開始日：平成30年12月18日(火)から  
 業務内容：予約図書等の貸出、返却、予約の受付等  
 問合せ先：図書館南部分館 04-7172-9194

### ■南部みんなの広場は、次の場所で児童センター業務を行います。問合せ先：しこだ児童センター 04-7145-2522

※開館日は変更になる場合がありますのでご確認のうえお出かけください。

南部近隣センター 体育館体育室	南部近隣センター 体育館和室	リフレッシュプラザ 柏カルチャールーム	土南部小こどもル ーム 第2ルーム
18歳までの交流・遊び場	18歳までの交流・遊び場	18歳までの交流・遊び場	未就学児親子の交流・遊び場
平成31年1月6日から	平成31年1月6日から	平成31年1月10日から	平成31年1月8日から
火・日 午後1時15分～4時45分	火・水・日 午後3時～5時	木・金 午後3時～4時45分	火・木・金 午前10時～正午

## リノベニュース

をご愛読下さい。



### お知らせします!

ワークショップの様子や施設改修の進捗状況をいち早くお知らせします。参加者の声なども、紙面でご紹介する予定です!



### お寄せください!

是非地域のみなさまのご意見をお寄せください。ご意見等は随時ご意見箱(近隣センター内に設置)やメール(タイトル下を参照)でも受け付け、ワークショップ時の検討材料として活用させていただきます。

南部近隣センター  
リノベーション事業  
特設サイト **開設!**



<http://www.city.kashiwa.lg.jp/soshiki/053000/p043375.html>

### ■次回(第2回ミニワークショップ)のご案内

12月15日(土)は「部屋ごとの家具備品を考えよう!」をテーマに、第2回のリノベーションミニワークショップを開催します。



## 事業のスケジュール



改修案(平面図)完成から2ヶ月。新たに、運用方法を議論し、「利用マニュアル」を作成するためのワークショップが始まりました。メンバーは、これまでのワークショップ参加者から募集し、20名が集まりました。

1年前に市民ワークショップがはじまったときは予定されていませんでしたが、使い方に関する意見も多数出されたことから、この管理運営ワークショップ(ミニワークショップ)を実施することにしました。

### 南部近隣センター管理運営ワークショップ(ミニワークショップ)スケジュール

#### 第1回 平成30年9月29日(土) 「コンセプトを活かすルールを考えよう」

- ・管理運営ワークショップのねらいと前提条件
- ・部屋ごとの運用ルールを議論し方向性を出す

#### 第2回 平成30年12月15日(土) 「部屋ごとの家具備品を考えよう!」

- ・定めたルールで必要となる家具備品(サイズ、数量)を想定する
- ・定めたルールで必要となる建築(床・壁・天井・設備)が工事に含まれているか確認

#### 第3回 平成31年2月23日(土) 「できました!新南部KCの『利用マニュアル』」

- ・「利用マニュアル」原案をもとに修正事項を議論
- ・「利用マニュアル」の完成

# 第1回ミニWS コンセプトを活かすルールを考えよう！

第1回 WSの流れ



**ステップ1**  
あいさつ

**ステップ2**  
管理運営ワークショップの  
ねらいと前提条件



**ステップ3**  
部屋ごとの運用ルール  
を話し合おう！

**ステップ4**  
質疑応答とまとめ

第2回WS  
12/15



ファシリテーター

岡山理科大学  
平山文則 教授

## ■ステップ1～あいさつ

これまでより規模の小さい（ミニ）ワークショップということで、地域支援課長のあいさつでスタート。

参加者は20人。班を分けて、全員で意見交換の開始です。



## ■ステップ2～管理運営ワークショップのねらいと前提条件

ファシリテーターから、「改修計画はできたが、運用方法など未消化の事項もある。各部屋のハードとソフトを合わせることで、完成後の利用者評価を高められる」との説明がありました。

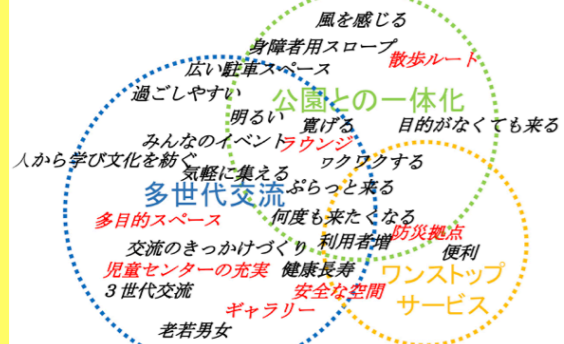
事務局からは、ミニワークショップの範囲や目標について説明がありました。

○ラウンジ、会議室など共用エリアの使い方を決めます。（出張所、図書館分館、みんなの広場は対象外）

○ワークショップの結果は「南部近隣センターご利用案内」としてまとめます。

○条例などで定められている統一ルールを逸脱することはできません。

市民活動ワークショップで見えてきたコンセプトは…  
「多世代交流」「公園との一体化」「ワンストップサービス」



市民ワークショップで創りあげたコンセプトを実現できるようなルールづくりを目指します。

## ■ステップ3～意見交換

これまでの市民ワークショップで出された意見のうち、運用に関するものを抽出して整理し、参加者に示しました。

### 部屋ごとの運用ルールと確認シート

施設区分	ミニWSで議論すべき事項
館全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>全館の利用時間</li> <li>全館の清掃、ゴミ運用ルール</li> <li>全館の色彩計画</li> <li>館内でインターネットが使える範囲 (WiFi)</li> <li>イベント企画のルール</li> </ul>
ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用時間</li> <li>運用ルール</li> <li>ラウンジ家具什器備品レイアウト</li> <li>自販機メニュー、機器選定</li> <li>ゾーンを決めて利用者の使い分けをするか否か</li> </ul>
市民活動室	<ul style="list-style-type: none"> <li>土足禁止ゾーンの運用ルール</li> <li>会議室、和室、多目的活動室の運用ルール</li> <li>調理室の運用ルール</li> <li>調理室イベントの企画案</li> </ul>
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法駐車をなくす駐車場の運用ルール</li> </ul>
学習スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨時に学習室として使う部屋の運用ルール</li> </ul>

（上記は確認シートの一部です）

その後、参加者の関心の高いエリアから、意見交換を行いました。主なものをご報告します。



## ラウンジの飲食、どうしたらいい？

自動販売機で軽食を販売してほしい。

食べがす、食べ残しの処理はどうする？  
小袋包装の菓子ならいいけれど。

自動販売機の契約はふるさと協議会でできるので、メニュー等も決められます。

ゴミ箱はおかないので、持ち込みやパン等ならいいが、カップ麺はゴミがでる。何を販売するか、ふる協としても検討したい。

自販機で軽食を売るなら、持ち込みは禁止にした方がいい。

子どもと一緒に来るときは、持ち込みできないと困る！

ゴミは持ち帰りでいいですね？

飲食の検討は次回の継続審議とします。

## ラウンジを、グループで使っていい？

仲間うちでパソコンを持ち寄ってラウンジを使いたい。

リニューアルしたら利用者が増えて、席の余裕がなくなるのではないかな？

子どもの学校がある午前中ならだいじょうぶでは？

他のセンターで、長時間占有されて困るという話もある。

「利用は1組〇〇分まで」とするのはどうだろうか？

パレット柏の4人掛けテーブルは、1回2時間までのルールがある。オープン当初はなかったが、混雑するので後からルールをつくったとのこと。

席の形態によってルールを変えるのはどうか？

備品の仕様で緩やかに分ける案もある。次回検討しましょう。

## ボランティアで清掃したい

清掃ボランティアをやりたいと思っている。他にも仲間がいればいいが。

建物周りの環境美化にもボランティアは有効。他にもボランティアを集めるための仕組み作りが必要だろう。

センター利用者にもそういった活動をしてもらいたい。

社協ではボランティアの育成も行っていきます。ふる協さんと相談しましょう。

## ■「感想カードから」

- ・重厚感のある調度品や上品な色づかいを！
- ・市民ワークショップで売店は賛同を得られなかったが、自販機だけではできるだけ充実したものを置きたい。
- ・納得できる運営の方法を生み出していきたい。
- ・ラウンジは色々なルールが必要だと感じた。
- ・利用者の基本的な使用後の清掃、片付けが必須です。
- ・実用的なところへの重要度（関心度）が低く、あとで「決めておけばよかった」と後悔しそう。